

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター吉富 Kind



○事業所名	COMPASS発達支援センター吉富Kind		
○保護者評価実施期間	R7年9月10日		~ R7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 18	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R7年9月5日		~ R7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体で会議や勉強会を実施しております。 複数の地域に事業所があるので、不明な点等は指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	各児童が楽しく学んでいけるよう、個別の支援内容と、運動療育などの集団でおこなう活動を組み合わせることで、児童にとって安心できる環境づくりに努めております。	タイムスケジュールを職員間で調整し、児童が視覚的に確認しながら行動を切り替えられるよう工夫しております。	さまざまな活動を提供する中で、職員間で振り返りをおこない、一つひとつの活動を評価しながら内容の質の向上につなげてまいります。
3	活動内容が固定化しないよう工夫をおこなっております。	児童が楽しいと思えるように、日々の活動が固定化しないよう療育内容を計画しております。 また、毎月、季節の行事等に合わせた活動や専門職による運動もおこない、効果的な療育と楽しさの両立を目標として取り組んでおります。	運動療育は利用児童の年齢幅があるため、活動の難易度調整や年齢別に実施する等、効果的な活動を増やしていくよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各ご家庭単位では情報共有等の連携ができておりますが、父母の会等の交流会を開催できておりません。	保護者交流会の開催に関しては、平日では参加できる保護者様に限りがあるため、土曜日の開所時が適当であると考えております。 一方で、土曜日は職員数が少なく利用児童の支援をおこないながら、保護者様が交流できる環境の確保が難しいことも考えられるため、交流会を実施するにあたり、環境整備や職員人数の調整が必要であると考えております。	まずは保護者様へ確認をおこない、実際に集合しなくても情報発信ができる方法を模索していく必要があると考えております。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができておりません。	地域住民の方を招待することに関しては、現在の事業所の体制上では難しいと考えております。	地域でおこなわれているイベント等への参加が、まず取り組める方法であると考えられるため、そのような情報を集約しながら地域の方と関われる機会を設定できるよう検討してまいります。

